

臨床研究等の情報公開

研究課題名	多施設共同研究による青森県内で発生した施設外分娩の要因と母児の合併症評価の探索
研究機関	弘前総合医療センター 青森市民病院、青森県立中央病院 他
研究内容	<p>日本では周産期医療体制の整備により施設分娩が一般的となっている一方、人口減少や分娩施設の集約化、地域偏在などにより、受診や搬送の遅れが生じ得る状況にあります。また、施設外分娩は発生頻度が低いいため、単施設での経験にとどまりやすく、実態や課題が十分に可視化されていません。</p> <p>青森県は広域であり、特に冬季には積雪や路面状況など地理・気象条件の影響を受けやすく、搬送時間の延長や救急資源の制約が母児の転帰に關与する可能性があり、県内の総合病院に集約される症例を横断的に収集・解析することで、地域特性を踏まえたリスク構造と医療提供体制上の課題（受診行動、救急隊との連携、初期保温・蘇生対応、適切な搬送先選定等）を具体化し、母児の安全確保および周産期救急体制の改善に資する実証的根拠を提示することを目指します。</p>
実施期間	研究倫理委員会承認日～2028年12月31日
対象者	2015年1月1日から2025年12月31日に青森県内で施設外分娩となり、当院当科に搬入・収容された妊婦を対象とします。
実施方法	<p>当院の診療録に記載されている情報のうち、①患者基本情報、②既往歴等、③分娩に関する情報、④病院搬送に関する情報、⑤周産期における合併症およびその治療の有無、⑥児に関する情報を使用します。</p> <p>なお、使用に当たっては氏名、住所など、個人を特定できる情報は削除します。研究結果は学会発表及び論文掲載で公表されますが、その内容から対象者個人が特定されることはありません。</p> <p>本研究は、複数の施設のデータを合わせて解析するため、弘前総合医療センターへ当院で得られた情報を提供します。</p>
参加撤回の自由	患者さん本人、またそのご家族が解析対象となることを望まない場合、研究対象から除外します。その場合、診療において不利益となることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済みの場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますのでご了承願います。
問合せ先	研究責任者：産婦人科部長 佐藤 麻希子 〒030-0821 青森市勝田一丁目14番20号 青森市民病院 産婦人科 TEL：017-734-2171（代表）